

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（6月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

みなさまこんにちは。ついに留学前学期が終わってしまいました。6月は学期の集大成となるプレゼンテーションやレポート、テストなどに追われながら半年で帰国してしまう友達や仲良くなった地元の友達と最後の時間を楽しむという1ヶ月でした。今学期最後の最後には小学生に英語を教えるサマーキャンプがあり、退寮の準備もあり、ばたばたと忙しく過ごしましたが、とても有意義な経験でした。留学前学期を終えての反省も含め、6月の報告をしたいと思います。



### 【輔仁大学の学期末】

#### ★テスト・卒業について

台湾で4ヶ月生活し、様々な違いを発見してきた訳ですが、ここでは学期末テストにフォーカスを当てたいと思います。ひとつめに紹介したいことは、日本語学科の経営学の授業のテストについてです。この授業は4年生向け授業であるため、まず、他の授業と比べ、2週間早い日程で行われました。なぜならば4年生はその次の週に学期の1週間を残し卒業してしまうからです。しかし4年生の中には共通教育の授業を履修していて最後の週まで授業に行かなければならない学生もいます。また、卒業について言えば、卒業生が卒業の帽子と服を身につけあちこちで写真を撮っている光景はこの半年間たくさん見ました。更に卒業イベントもとても楽しそうで、全ての学科がそうかは分かりませんが、少なくとも日本語学科は学科での卒業式、大学全体での卒業式に加え、学科の卒業生と先生が出席する卒業パーティーを行っていたようです。

次に紹介したいことは、英語学科の“Chinese Culture through Foreign Language-English”の授業の最終課題、ホームタウンプロジェクトのプレゼンテーションです。ホームタウンプロジェクトでは自分の故郷について、観光的な視点からでなく、地元の人としての視点から紹介することが目的です。このプロジェクトのおかげでクラスメートの様々な故郷について知ることができ、行ってみたい場所が増えました。台北内でも隠れた良い場所があったり、彼らがどのように育ったのかを垣間見ることができ、とても興味深かったです。例えば、台北内の山の近くに住んでいるという男の子は、まだバイクの免許を持っていないときに、友達と夜中に山で運転の練習をしていた（警察が来ないため）という話を共有してくれ、台湾人はこのように育つんだなあ、納得したり面白かったりしました。他にも、プレゼンテーションの形式として、明確な指定はなかったため、一般的な、スライドを用意して話す形式を取らず、実際に自分の地元の紹介

したい場所に行き、自分も写り、ナレーションをしている動画を作った人もいて、そのクリエイティブさとクオリティの高さに驚きました。ちなみにもちろん私も自分の故郷について発表したのですが、その時期に地元について考えたり写真を見たりしたことは地元に戻りたいと、ほんの少し思わせました。

### ★芸術面

学期末である6月には芸術面でも多くのイベントがあり、私も足を運んでみました。一つ目のイベントは、外国語学科のAnnual Playです。学内にあるシアターで演劇を披露するイベントで、私は英語学科の演劇を見てきました。他にはイタリア語学科、スペイン語学科が行っていたと思います。Annual Playは学科の授業で、その授業を履修した生徒全員で監修からチケットやポスターのデザイン、大小道具・衣装・メイクまで全て行っています。英語学科の演目は“Every Man”というものでした。日本でも言語系の学科はこのような授業があるかと思いますが、実際にそれを見るのは初めてだったので、他の授業と平行して膨大な量の台詞を覚えたり、協力して演劇を作り上げていたことは本当にすごいと思いました。



英語学科演劇のチラシ

もう1つ私が見に行ったのはオーケストラの発表です。演奏者の中に私と同じく留学生の友達と本科生の友達が一人ずついたので聴きに行くことにしたのですが、曲目はジブリの音楽が中心となっていて、とても楽しめました。彼らは週に2度ほど練習していて、メンバーの中にはもう10年以上弦楽器をやっている人や、半年前に初めて始めた人もいて、初心者も大歓迎だということでした。



オーケストラ演奏後

他にも様々なクラブ活動があり、勉強だけでなく、こういった芸術的な活動にも積極的に参加している学生が多くいること、また、披露する機会、場所もキャンパス内に整っていることはとても素晴らしいと思いました。

### 【前学期の反省】

前学期はいろいろなところへアクティブに出向けたこと、英語を使う機会が多かったことが良かったと思います。しかし、もう少し早い段階から台湾人の友達とは英語ではなく中国語で話すよう試みたり、話せるようにもっと勉強すれば良かったと思います。夏休みの間に特に発音・声調の勉強に力を入れたいと考えています。また、学期末になって知った、言語交換や文化を共有する大学内のイベントに来学期は参加したいです。